

2020年11月30日

報道関係者各位

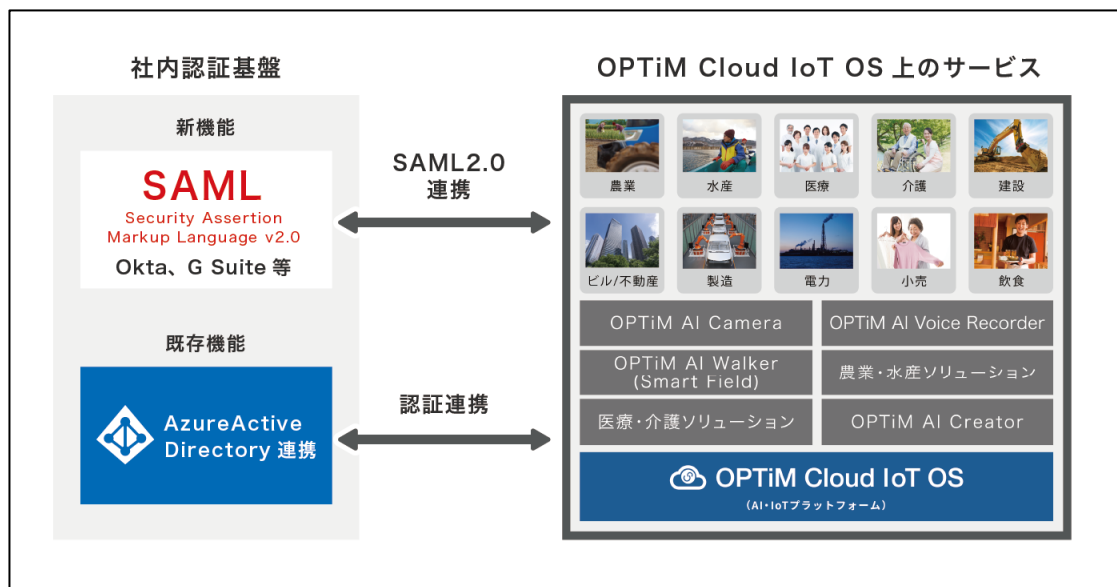
株式会社オプティム
(東証一部、コード:3694)

AI・IoTプラットフォームサービス「OPTiM Cloud IoT OS」、 バージョンアップを実施

SAML2.0 認証、時系列 DB、デバイスライフサイクル管理 API などの機能を追加

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム(以下 オプティム)は、AI・IoT プラットフォームサービス「OPTiM Cloud IoT OS」のバージョンアップを行い、SAML[※]2.0 認証機能や時系列データベース、デバイスライフサイクル管理 API などの提供を開始しました。最新バージョンの主な新機能は以下のとおりです。

- 認証利便性・セキュリティ強化
「OPTiM Cloud IoT OS」では、プラットフォーム上の各種サービスをより簡単・安全にご利用いただけるように、認証の利便性とセキュリティを継続的に強化しております。今回、企業認証基盤連携強化のため、SAML2.0 認証機能を追加しました。これにより、「OPTiM Cloud IoT OS」上で開発されたアプリケーションは、顧客企業が利用している認証基盤のアカウントでのログイン(シングルサインオン)することが可能となりました。
さらに、本機能を利用することで、顧客企業が既に利用している認証基盤で一元管理が行えるため、管理コストの削減や、退職者アカウントの削除漏れによるセキュリティインシデントを防ぐことができます。



- IoT データ管理機能の強化

IoT データ管理機能強化として、新たに時系列データに特化したデータベース機能の提供を開始しました。本機能を利用することで、IoT デバイスから送られてくる大量のデータをより高速に処理することが可能となります。また、時系列データのデータフォーマットを定義して標準化する機能を持っており、複数アプリケーションを横断したデータ活用を促進できます。

◆時系列 DB を活用したアプリケーションイメージ



- デバイスライフサイクル管理 API の追加
産業用機器や IoT デバイスのライフログを管理する、デバイスライフサイクル管理 API をリリースしました。本機能を利用することで、産業用機器各個体の構成やパーツ交換履歴などを管理することができます。これにより、産業用機器の修理履歴の蓄積や、耐用回数に近づいたパーツの交換を提案することが可能になります。

◆デバイスライフサイクル管理 API を活用したアプリケーションイメージ

Lifecycle					Component Detail
名称	コンポーネントID	シリアルナンバー	使用回数/耐用回数 (使用率)	使用期限	コンポーネントID
1	マインドストーム アームロボットタイプ	236FFED1-6C82-4F17-B41A-1F7DB9F0E05A			構成種別
2	モータ1 ベース	6D5AD898-A45A-4F77-A6BB-0C98A3015FDC	x00003	36/100 (36%)	Parent ID
3	モータ2 アーム上下	8510367F-263C-480E-9948-E99C8A6FF6EB	x00004	46/100 (46%)	部品ID
4	モータ3 グローブ	F00B2303-85D0-454E-A5E3-DBFA1E23E786	x00002	86/100 (86%)	チャンネルID
5	スイッチセンサ ベース位置	184043C3-245D-4534-8F96-65D0C3ECC5F	x00003	23/100 (23%)	シリアルID
6	距離センサ アーム	F54CA3BD-9265-4D9E-B085-E6AEBOCA3B74	x00002	56/100 (56%)	最大使用可能回数
Rows per page: 10 1-6 of 6					使用回数閾値

3D Model

■「OPTiM Cloud IoT OS」とは

「OPTiM Cloud IoT OS」とは、AI と IoT を繋ぐプラットフォームサービスです。「OPTiM Cloud IoT OS」は IoT 端末をセキュアに管理・制御し、IoT 端末より取得したデータの蓄積や分析、各種 AI の活用、さまざまなクラウドサービスとの連携を可能とします。さらに、専用 ID 管理、複数企業での協働を支えるアクセス制御機構、アプリケーション販売機能により、オープンプラットフォームのビジネス基盤としても利用いただけるだけでなく、新規プラットフォームの立上げ(OEM 提供を含む)やアプリケーション開発・販売の効率的な運用支援も提供いたします。

「OPTiM Cloud IoT OS」についての詳細は、以下の Web サイトをご確認ください。

<https://www.optim.cloud/platform/>

■「OPTiM Cloud IoT OS」のトライアル環境について

「OPTiM Cloud IoT OS」のトライアル環境は、どなたでも3ヶ月間無償で利用することができます^{※2}。また、トライアル環境で開発したアプリケーションは、「OPTiM Cloud IoT OS」の Store 上で販売することが可能となります。

トライアル環境についての詳細は、以下の Web サイトをご確認ください。

<https://www.optim.cloud/trial/>

※1 SAML: Security Assertion Markup Language の略。異なるドメイン間で認証情報を連携して利用中の認証基盤から外部クラウドサービスにシングルサインオンを可能とする仕組み。

※2 無償期間終了後の継続利用に関しては、お問い合わせください。

【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

～Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な～

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス事業の総称です。

製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>

Twitter ページ: https://twitter.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム
上場市場: 東京証券取引所市場第一部
証券コード: 3694
URL: <https://www.optim.co.jp/>
OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル
(佐賀本店)
OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 21 階
(東京本社)
OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階
代表者: 菅谷 俊二
菅谷 俊二
主要株主: 東日本電信電話株式会社
富士ゼロックス株式会社
設立: 2000 年 6 月
資本金: 443 百万円
主要取引先: NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社大塚商会、
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作
所、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック ソリューショ
ンテクノロジー株式会社、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社、
リコージャパン株式会社など(五十音順)
事業内容: ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業
(IoT プラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービ
ス、その他サービス)

【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報・IR 室 村上

TEL: 03-6435-8570 FAX: 03-6435-8560

E-Mail: press@optim.co.jp

OPTiM Cloud IoT OS サービスページ: <https://www.optim.cloud/>